

耐衝撃性試験（鋼球落下試験）

受託開始のお知らせ

ガラス製品試験センターでは、「JIS R 3212 自動車用安全ガラスの試験方法 5.4 項 耐衝撃性試験」に規定されている、ガラスの鋼球落下試験の受託を開始しました。

耐衝撃性試験の目的は、自動車用安全ガラスが小さな硬い飛来物の衝撃に対して最低限必要な強度を持っているかを調べることです。耐衝撃性試験の供試体は、製品と同じ方法で製造された約 300mm×300mm の強化ガラス等、又は、平面製品の約 300mm×300mm の部分及び、曲面製品の最も平面に近い約 300mm×300mm の部分と記されています。試験は、指示枠に供試体を置き、供試体の中心部分に鋼球（質量 227g±2g で直径約 38mm）のものを 2m の高さから落下させて、ガラスの破壊の有無を確認するという試験です。

供試体の寸法が約 610mm×610mm の場合は、下記の方法で試験は対応可能です

供試体の寸法が約 610mm×610mm の場合は、その寸法に対応した支持枠も保有しておりますので、それを使用して鋼球落下試験^{*1}を実施することが可能です。

詳細につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

※1 610mm×610mm 角の支持枠は、JIS R 3206(2003)強化ガラス 8.5 項 落球試験 の支持枠となり、鋼球は質量 1040g±10g、鋼球の落下高さは 100cm となります。

耐衝撃性試験以外の試験も対応可能です

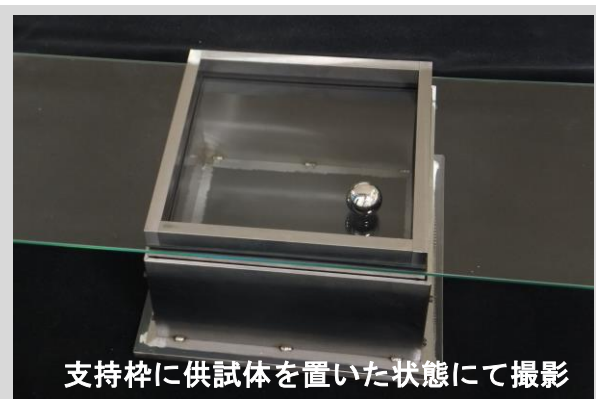
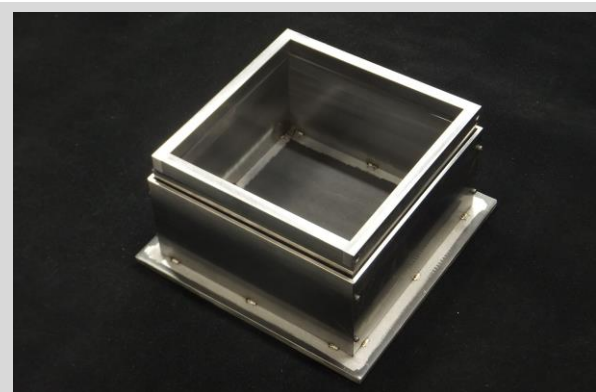
ガラス製品試験センターでは、強化ガラス^{*2}(JIS R 3206(2023))について、下記の試験が対応可能です。

- ①外観試験(8.2 項)
- ②破碎試験(8.3 項)
- ③表面圧縮応力の測定(8.5 項)
- ④反りの測定(8.10 項)
- ⑤ひずみの観察(家表法)
- ⑥断面ひずみの観察(家表法)
- ⑦耐荷重試験(JIS 外の試験^{*3})

試料によっては対応できない場合もございます。詳細につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

※2 熱処理してガラス表面に強い圧縮応力層を形成し、破壊強さを増加させた板ガラス。

※3 耐荷重試験とは、平面強化ガラスを四隅 4 点等で保持して、そのガラスの表面中央付近に鋼球を置き、その上から圧縮試験機にて荷重をかけて、試料が破損したときの荷重値を調べるという試験です。



支持枠に供試体を置いた状態にて撮影

お問い合わせ先

一般財団法人 日本文化用品安全試験所

大阪事業所

ガラス製品試験センター

電話番号: 072-968-2227

E-mail: glass-osaka@mgsl.or.jp

住所 〒578-0921 大阪府東大阪市水走 3 丁目 6 番 14 号

「ブンカケン」・「MGSL」で検索、
又は URL: www.mgsl.or.jp/、QR コード

